

局所有船舶の更新について

建設局が所有する3隻の水上バス（以下「現行船」という）については、平常時は（公財）東京都公園協会が隅田川などを中心に「東京水辺ライン」を運航しており、発災時は物資や人員の輸送等の役割を担っています。これら現行船は建造から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

このため、建設局では、新しい船舶（以下「新船」という）4隻の建造を進め、災害対応力の強化を図っています。大小1隻ずつ、合計2隻の新船が令和7年度末までに完成予定です。これに伴い、現行船については、順次廃船する予定です。

現行船での東京水辺ラインの定期運航等は、12月より規模を縮小し、来年の1月18日をもって休止となります。公園協会による新船での運航は、令和8年夏ごろの再開を目指しております。

なお、発災時対応については、令和7年度中は現行船で、令和8年度以降は新船で実施し、都民の安全・安心の確保に努めてまいります。

何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。